

# リスクと保険 II

科目ナンバリング CME-204  
選択必修 2単位

三町 俊哉

## 1. 授業の概要(ねらい)

現在、企業活動においてリスクと保険の問題がクローズアップされています。自然災害やテロの多発、システム障害の頻発などにより、企業のリスクマネジメントに対する関心は、あらゆる業種で急速に高まっています。このことを踏まえて、本講座では、リスクやリスクマネジメントから保険制度・保険経営に至る全体像を体系的・段階的に習得することを目的としています。授業では教科書に沿って基礎理論を中心に学んでいますが、実務の世界でどのように対応しているのかも織り交ぜ、みなさんの理解を深めています。

「リスクと保険 II」では、保険契約者側からみた保険について考察した後、保険ビジネスとしての保険商品の開発・販売から保険金支払いまでの一連の流れを勉強します。さらに、保険企業の形態・財務・企業価値・監督システムを概観し、商品・販売制度の規制緩和の流れを学習します。

授業は原則としてLMSを活用したオンライン授業で行います。小テスト・学期末テストとともに、オンラインで行います。

## 2. 授業の到達目標

- ・リスクと保険の基礎知識、専門用語を習得することができる。
- ・リスク対応についての考え方を理解することで、企業の行動基準の一つを会得することができる。
- ・保険の仕組みを知ることで、企業経営と社会の成り立ちの基本的な理解を深めることができる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- ・小テスト 20~30%
- ・学期末テスト 80~70%

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

下和田 功 [編] はじめて学ぶリスクと保険[第4版] 有斐閣ブックス

### 参考文献

米山高生 リスクと保険の基礎理論 同文館出版

山下友信・竹濱修・洲崎博史・山本哲生 保険法[第4版] 有斐閣アルマ

栗山泰史 保険募集制度の歴史的転換 保険教育システム研究所

## 5. 準備学修の内容

- ・当日の講義では、簡単なレジュメをLMS上で用意しますので、各自打ち出して講義内容の重要な点を補記するなどし、復習に活用してください。
- ・必要に応じて、講義中に次回授業のポイントをお伝えしますので、次回の授業準備の一助としてください。

## 6. その他履修上の注意事項

- ・欠席及び公欠の扱いについては、原則大学の規定にフォローします。出欠状況は、定期的にアクセス状況を確認していますので、できるだけ定期的に授業を聴くようにしてください。
- ・オンラインといえども、他の受講生の迷惑となるないように、最低限のマナーは守ってください。
- ・基礎編であるリスクと保険 I の後半がリスクと保険 II につながるので、続けて履修することが望ましいです。
- ・毎回の授業は、あらかじめLMSで用意した資料を基に聴いていただければよいと思いますが、復習は教科書中心にお願いします。試験は、教科書を中心に出題します。

## 7. 授業内容

- |        |   |
|--------|---|
| 【第1回】  | オリエンテーション 自己紹介・授業の進め方・教科書の使い方・成績評価の方法および基準・出題範囲<br>春期授業の復習 (LMSで実施) |
| 【第2回】  | 保険可能なリスクの分類と保険商品  |
| 【第3回】  | 地震保険・自賠責保険の概要   |
| 【第4回】  | 企業のリスクと保険   |
| 【第5回】  | 保険者の企業形態 保険業法の規定から  |
| 【第6回】  | 新商品開発と保険の販売   |
| 【第7回】  | アンダーライティングと契約保全   |
| 【第8回】  | 保険の財務(1) 保険料と責任準備金  |
| 【第9回】  | 保険の財務(2)資産運用・保険会計・再保険   |
| 【第10回】 | 講義内容の中間総括 小テスト  |
| 【第11回】 | 保険会社の企業価値   |
| 【第12回】 | 損害調査と保険金支払い   |
| 【第13回】 | 保険産業と監督システム   |
| 【第14回】 | 新しい保険募集ルールにみる消費者保護  |
| 【第15回】 | 講義内容の総まとめ 学期末テスト  |